

## 在校生トピックス

厦門理工学院との日中交流を終えて

専攻科 複合工学専攻 情報工学系 2年 中尾 亮

私は、厦門理工学院との日中交流に参加し、7月は佐世保で、10月には厦門で厦門の学生との交流を行いました。

7月には厦門理工学院から7名の学生が佐世保を訪れ、学校の授業体験や学生との英語を用いた交流を行っていました。また休日は、専攻科生が平戸や九十九島などを案内し日本の文化や歴史を紹介しました。

10月には専攻科生6名が約3週間の日程で中国、厦門を訪れました。3週間の滞在では様々な体験をすることができました。中国文化体験や中国語の授業、コロンブス島や福建土楼への観光、さらには企業へのインターンシップやホームステイなど観光では体験できないようなことを多く体験できました。これらの体験を通して中国の文化や生活を深く知ることができました。

また、中国の学生が高い学習意欲を持っていることを実感しました。毎日、朝早くから夜遅くまで授業があっており熱心に勉強している姿が見られました。また、今回お世話をしてくれた日本語学科の学生はわからない日本語があるとすぐに意味を調べて習得していました。私も彼らのように日頃から勉強に対する意識を強く持っていきたいと思いました。

今回の日中交流を通して、中国の文化や人、生活など、日本にいただけでは知ることができないようなことをたくさん経験することができました。中国の友人をたくさん作ることができ、この交流に参加して本当に良かったと思います。

最後になりましたが、本交流に多大なご支援を頂戴致しましたことを心より厚く御礼申し上げます。

2015年12月5日(土)～12月6日(日)

沖縄県・琉球大学工学部にて

応用物理学会九州支部学術講演会

タイトル「大気圧パルス放電プラズマを用いた香辛料の殺菌」

専攻科2年 複合工学専攻 情報工学系 宮本大毅

私は「大気圧パルス放電プラズマを用いた香辛料の殺菌」というテーマで研究に取り組んでいます。本研究では、人体及び環境に対して安全に殺菌・消毒できる新しい方法として、低温、低湿条件下で殺菌が可能となるプラズマに着目し、香辛料の品質に悪影響を及ぼすことのない殺菌装置の開発を目的としています。今回は、この研究にて一定の成果が得られたため、同窓会の皆様の援助のもと、応用物理学会九州支部学術講演会に参加いたしました。この学会には、様々な分野の方が参加されており、発表を拝聴して初めて耳にすることも多く、非常に有意義な時間を過ごすことができました。

今回、応用物理学会に参加して、研究の進行状況を再確認できただけでなく、客観的に評価して頂くことができたため、研究に対する意欲が以前にも増して湧いてきました。卒業までの残されたわずかな時間も、意欲的に取り組んでいこうと思います。また、研究をより深化させるためには、研究発表の場に出来るだけ多く参加していくべきだと強く感じました。そのためにも、同窓会の皆様からのご支援は不可欠です。今後ともどうかよろしくお願いいたします。

このたびは全国高専大会出場に際しまして、ご支援をいただき誠にありがとうございます。

陸上競技部女子は初の総合優勝を果たすことができました。

今回は女子部員全員が全国への出場権を勝ち取ることができ、1種目でも多く決勝に残り点をもぎ取る気持ちで全国高専大会に臨みました。その結果、2位と10点以上の差をつけ優勝することができ、私にとって最後の高専大会は最高のものとなりました。このような結果が出せたのも、日頃よりご指導してくださっている先生方、そして多大なご支援をいただいております後援者の皆様のおかげです。

これからも、部活動をはじめ高専生活においてより一層、精進していきますので、今後もご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

電気電子工学科 5年 中村 亜紀

